

公開シンポジウム

アジアを低炭素な社会にしていく仕組みづくり：
温暖化対策のための測定 報告 検証 (MRV)を通じたパートナーシップの構築に向けて

日時: 2013年3月5日(火)

時間: 13:30-17:00

会場: イイノホール(東京), ルーム A

<http://www.iino.co.jp/hall/access.html>

本シンポジウムでは、アジアにおける低炭素社会の構築に向けた温暖化対策のための測定・報告・検証(MRV)について、アジア各国から、国レベル、都市レベル、プロジェクトレベル等様々なMRVの実施状況を報告し、MRV制度、方法論、人材育成等の課題について議論をします。

アジェンダ

開会挨拶	
13:30-13:35	IGES 所長 森秀行
セッション 1: 低炭素型発展に向けた取り組みと測定、報告、検証(MRV)の重要性	
13:35-13:55	二国間オフセット・クレジット制度(JCM/BOCM)に関する日本政府の取組 環境省 地球環境局 市場メカニズム室 国際企画官 水野 勇史
13:55-14:15	WRI による都市からの温室効果ガス排出量算定プロトコル作成プロジェクト 世界資源研究所 シニア・アソシエイト ウィー・キアン・フォン
14:15-14:30	アジアにおける MRV 人材育成事業から学んだ点と今後の課題 IGES 市場メカニズムグループ 副ディレクター 小塚一久
セッション 2: アジアにおける国レベルでの MRV システムから学ぶ: 低炭素発展政策との統合	
14:30-14:45	インドにおける省エネ・再生可能エネルギーの測定、報告、検証(MRV)制度導入から得られた教訓: PAT(省エネ事業の実行、達成及び取引) エンフラジー・ソリューション エネルギーサービス部 副部長 アビジット・チョウハリ
14:45-15:00	中国における省エネルギー測定、報告、検証(MRV)制度から得られた教訓: 省エネ目標達成責任制度 IGES 気候変動グループ 特任研究員 金振
15:00-15:15 休憩 [15 分]	

セッション 3: 都市及び自治体における温暖化対策のための測定、報告、検証仕組みづくりに向けた取り組み	
15:15-15:25	自治体レベルにおける低炭素型発展と MRV 体制構築支援:機会と課題 IGES 北九州アーバンセンター アクティングディレクター 前田利蔵
15:25-15:40	ベトナム・ホーチミン市における低炭素発展政策と MRV 体制構築に向けた挑戦 ホーチミン市 天然資源環境省兼ホーチミン市気候変動運営議会副議長 ディレクター ダオ・アン・ケット
15:40-15:55	北九州市による都市間環境協力と K-MRV 北九州市 環境局環境国際戦略室 環境国際担当部長 内藤英夫
セッション 4 :プロジェクトレベルでの MRV 方法論改善	
15:55-16:10	低炭素発展政策と MRV プロセスの統合:低炭素で持続可能な廃水管理施策促進 IGES 淡水資源グループ 研究員 ビナヤ・ラズ・シバコティ
16:10-16:25	MRV 方法論の改善を通じた日本の技術移転の促進:インド中小企業向けエネルギー 効率改善事業を例として IGES 関西研究センター 研究員 ラビィ・アブドゥサレム
セッション 5: パネルディスカッション	
16:25-16:55	アジアを低炭素な社会にしていく仕組みづくり: 温暖化対策のための測定 報告 検証 (MRV)を通じたパートナーシップの構築に向けて モデレーター:IGES 主任アドバイザー、シニア・フェロー 井村秀文教授 パネリスト: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 世界資源研究所 シニア・アソシエイト ウィー・キアン・フォン ➢ ホーチミン市 天然資源環境省兼ホーチミン市気候変動運営議会副議長 ディレクター ダオ・アン・ケット ➢ 北九州市 環境局環境国際戦略室 環境国際担当部長 内藤英夫 ➢ 前川製作所技術企画推進室 部長 神戸雅範 ➢ IGES 市場メカニズムグループ 副ディレクター 小畑一久 論点: <ul style="list-style-type: none"> ● 低炭素発展政策と温室効果ガス排出量や削減量の把握方法 ● MRV の制度構築や人材の育成 ● 低炭素技術を促進するビジネスの機会 ● パートナーシップやネットワークの構築
閉会挨拶	
16:55-17:00	IGES 所長 森秀行